第1号議案　平成 29 年度事業報告及び収支決算の件

平成 29 年度事業報告（平成 29 年4月1日～平成 30 年3月 31 日）

「事業の概要」

①平成２９年度事業報告の概要

平成２９年度は、八王子市制１００周年記念事業にも積極的に協力しました。

自主事業としては、八王子国際交流フェスティバル 2017、協賛事業として第 38 回八王子いちょう祭り、第 12 回学生天国、第１回八王子ＮＰＯフェスティバル 2017、第 17 回八王子古本祭り、Ｄｒ肥沼の偉業を伝える市民の会（海外友好交流都市協定の締結・日本・ドイツブリーツエン市）、ワールドマジックショー、第 18 回八王子お父さんお帰りなさいパーティ等に参加し成果を得ました。

また、ボルダリングワールドカップ八王子 2017（５月５日～７日）に通訳 30 名を派遣しその活動がマスコミ等で高い評価を得ました。

②自主事業の充実と財源確保による財政基盤づくりに努め、語学シリーズ受講料の値上げ、通訳・翻訳料金の値上げ、研修会、講座の有料化等で収入増を図り成果を得ました。

Ⅰ.『生活・コミュニケーション支援事業』

１.「語学ボランティア」

市から受託されている「サポートデスク」、「行政書士による外国人個別相談」、「外国人のための無料専門家相談会」や八王子市の海外友好交流都市の交流事業の通訳、八王子市や各種団体・個人からの依頼による通訳・翻訳、企業・諸団体協会の各種の翻訳・通訳を行いました。

「防災・災害対応委員会」では、めじろ台１丁目・4 丁目合同防災訓練（めじろ台万葉公園）、みなみ野５丁目・６丁目合同防災訓練（市立みなみ野中学校）、八王子市総合防災訓練（市立陵南中学校）、市民センター避難所等開設訓練（由井市民センター）に参加しました。

また、語学ボランティアのスキルアップのために、「外国人おもてなしボランティアに必要な心構え」・「サポートデスクに必要な心構え」・「語学ボランティアの心構え：学習支援・国際理解の視点から」・「語学ボランティアの心構え：八王子での日本語学習の外国人支援について」全 4 回の研修会を行いました。

２.「医療ボランティア」

一般市民、語学ボランティア等を対象に「医療通訳ボランティア研修会」を年２回実施した。１回目は「メンタルヘルス」について学ぶとともに、ロールプレイを行いレベルアップを図りました。２回目は、「医療通訳者に求められる共通基準～身体組織の知識を例として～」を学びました。

通訳や翻訳など合計 36 件の医療通訳・翻訳を行ないました。

３.「防災・災害対応」

外国人（含む留学生）、語学ボランティアと一緒に防災訓練に参加しました。

８月 26 日（土）八王子市総合防災訓練（於：市立陵南中学校体育館）、11 月 12 日（日）八王子国際交流フェスティバスでの防災訓練、平成 30 年２月 27 日（火）市民センター避難所等開設訓練（於：由井市民センター）に参加しました。

４.「学習支援」

在日日数の短い小・中学生の学習者数が増えています。学習者は教室の受け入れ状況と学習日の状況で、北野学習支援教室または八王子駅前学習支援教室のどちらかで学習をしています。

「日本語を母語としない親子のための多言語高校進学ガイダンス」では、事前に通訳とスタッフのための研修を行い、ガイダンス全てに６か国語の通訳を配して実施し、現役の中学・高校の教師の協力で、生徒と保護者に日本の教育の仕組みや進路のアドバイスを行いました。

５．「日本語ボランティア養成講座」

日本語学習支援を行っている団体会員のメンバーを対象に(続)ステップアップ講座を無料で実施した。

６．「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」

東京オリンピック・パラリンピックに向けたボランティア育成講座を東京都と共催で開催しました。（４～５月：上級者向け・初級者向け、９月：初級者向け、１～２月：初級者向け）

また、上記講座の修了者向けに同窓会を２回（８月・10 月）開催して、英会話のブラッシュアップとボランティア活動を促しました。３回目は、「八王子外国人語学ボランティア英語交流会」と命名して、修了生に加えて“おもてなし”活動に興味のある市民にも参加を呼びかけて実行しました。大盛況でした。これらの会の運営は、ボランティアが新しく委員会を立ち上げて、企画・実行を行いました。

Ⅱ.『国際交流事業』

１．「八王子国際交流フェスティバル 2017」

八王子市制 100 周年記念事業として開催しました。市長以下、国会議員、多数の市議会議員等の出席を得て、オープニング・セレモニーを華やかに行いました。

今年は「出愛、ふれ愛・学び愛～セカイを知るとジブンが広がる～“Welcome to Hachioji from the world”～」をテーマに、15 か国約 120 名の外国人の出展やボランティアに参加して、楽しく有意義な国際交流イベントが開催できました。

ステージで中学生英語スピーチ・外国人につながる小中学生の日本語スピーチ・フォーマンス：８組)、異文化交流：12 か国の出展、日本語スピーチ（３か国、10 名)、JICA パネルディスカッションおよび展示と体験談および民族衣装の試着、ワールドキッズランド（世界の遊び・ファストフードから考える国際理解教育・地球の食卓）や Dr.肥沼の偉業の偉業を伝える講演、お茶席など国際色豊かな発表を行いました。また、市民参加の「笑顔の写真展」、子どもが楽しめる遊び（4 組)、救急訓練の体験、八王子の多言語・観光案内など幅広く展示や催しができました。

２．「世界の人とふれあいタイム」

全５回、５か国（中国・パプアニューギニア・ドイツ・タイ・オーストラリア）を実施しました。ゲスト・スピーカーが出身国の歴史･文化や現状などについて紹介し、参加者とのＱ＆Ａを行い、相互の国際理解を深めました。スピーカーが持参された「お茶やお菓子」を休憩時間にみんなでいただき、なごやかな雰囲気で交流もできました。

参加費 300 円（ただし当協会会員は無料）を徴収していますが、非会員の出席者が約６割でリピータも多くて大変好評な催しになっています。

３．「地域における国際交流」

第 38 回「八王子いちょう祭り」は、昨年同様、世界の人と国際交流・国際理解をテーマに参加しました。外国人市民による民族衣装、民族音楽や舞踊の披露のスティージ・パフォーマンス、外国人留学生の多言語案内は、来場した市民、学生達との国際交流の広場になりました。

Ⅲ.『国際理解事業』

１．「語学シリーズ」

春・秋・冬期に分け５言語 19 コースの語学講座を実施しました。市民の海外旅行志向や 2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催などを考慮して、「タイ語」を新設しました。語学学習を通してその国の歴史や文化などに触れ、国際理解や多文化共生社会の促進に寄与しました。

２．「国際理解教育」

学校での国際理解教育授業に協力しました。学校、委員会と事務局で事前打ち合わせを行い、より良い授業内容を検討し、中学校１校（２回)・小学校２校で実施しました。

Ⅳ.『広報事業』

会報「地球市民プラザだより」（日本語版、英語版、中国語版）を、２か月ごとに発行して、ホーム・ページにも掲載しました。また会報には、当国際協会の団体会員や団体賛助会員の活動の紹介コーナーを設け、記事を連載しました。

八王子市議会の方々にも会報を発送して、協会の活動の理解・周知を図りました。

外国人おもてなし講座の受講者や語学講座の受講者など各講座の参加者にも会報を配布して、協会活動の周知と会員獲得に務めました。

また、ホームページに、“What's New”欄で、40 件の情報発信（講座の開催案内やイベントへの参加募集など）を行い、活動への参加を呼びかけました。

多くの市民に八王子国際協会の活動を周知・理解してもらうために、積極的に各メディアなどへ情報提供に努めました。「八王子国際交流フェスティバル」の催しをはじめ、「世界の人とふれあいタイム」や八王子市総合防災訓練に参加する外国人などの記事が新聞・ミニコミ誌で掲載され、また J:COM 八王子で放映される等、知名度向上に貢献しました。

一方、当協会の広報活動改善のヒントを得るため、周辺自治体の国際（交流）協会への訪問・インタビューを実施し、内容は都度会報にも掲載させていただいております。

Ⅴ.『八王子市からの受託事業』

１.「在住外国人のためのサポートデスク」

八王子在住外国人が１万２千人を超え、外国人を取り巻く環境も複雑化・多様化しています。より精度の高い対応が求められていますが、専門家や他機関とより緊密に連携して対応ができました。

月曜日の午後、（下期からは木曜日の午前にも）中国語語学ボランティアが常駐し、サポートデスクで中国語通訳対応ができました。また、「行政書士による外国人個別相談」にも、英語、中国語、スペイン語の語学ボランティアが同席して通訳対応ができました。

さまざまな場面で活動する語学ボランティア向けに、八王子国際協会の活動を説明する研修をテーマ別に４回実施しました。

２.「外国人のための無料専門家相談会」

今年度の相談会は、相談者数は 19 組、相談件数は 21 件で、専門家（弁護士、行政書士、社会保険労務士、税理士）や市の相談員など計 13 人が相談に対応しました。通訳（語学ボランティア）15 人、スタッフ 15 人が運営を支えました。八王子市外からの相談者も多く、PR の効果を実感しました。会場が 12 階のセミナールームに変更になりましたが、事前に相談者の流れを検討して、配置を決めました。事前準備での役割分担も確認して、本番はスムーズな運営ができました。

３.「外国人市民の地域への防災訓練参加」

①11 月 26 日（日）、市内の万葉公園で実施された“めじろ台１丁目・４丁目町会合同防災訓練”に、外国人留学生、語学ボランティア、委員会委員など 11 名が参加した。

②12 月 10 日（日）、市内のみなみ野小・中学校校庭で実施された“みなみ野５丁目・６丁目合同防災訓練”に、外国人留学生、語学ボランティア、委員会委員など 15 名が参加した。また災害ヘルプカード改定版 2,000 部を印刷し、関係先へ配布した。

４.「コミュニケーション支援事業」

コミュニティ・グループ・イベントを６回開催し活発に取り組みました。コミュニティ・グループに入る人が増えてきました。Twitter でも情報提供ができ、情報交換も盛んになりました。外国人にとってわかりやすい日本語として、「やさしい日本語」の講座を開催し、30 名の参加を得ました。今後は、普及・啓発の方法を工夫をして行きます。

5.「学習支援(研修・講演会)」

学習支援者のためのワークショップ講演会、テーマ「外国人の子どもたちの“在留資格”」を実施しました。具体例を挙げての説明と支援者の中に行政書士がいることもあって法律や実際の話を聞くなどができ、とても濃厚な学習会となりました。

６.「日本語ボランティア養成講座」

①基礎講座では、「日本語ボランティアの心構え」と「日本語の特徴や学習の仕方」を学習者の立場から、実践的な知識を学びました。また、協会加盟団体会員が毎回講座の終わりに日本語教室の活動を紹介して、日本語の学習支援グループへの参加を呼びかけた結果、修了者の半数近くが学習支援グループに入会しました。

②ステップアップ講座では、実際に日本語学習支援を行っている人のスキルアップのため、「発音」「文法」「漢字」「敬語」「教材分析」を学びました。毎回講座の終わりに協会加盟団体会員が日本語教室での活動を紹介するなど、日本語学習支援グループの情報交換の場になりました。

③続ステップアップ講座を協会加盟団体会員向けに追加で開催しました。
日本語学習支援を行っている人のスキルアップのため、「外国人から見た日本語の“敬語”とポライトネス」「外国人には難しい日本語の音韻、カテゴリーとしての知覚」「ビデオ素材を使った活動“言語景観”“オノマトペ”」「多様な学習者～EPA 介護福祉士候補者への学習支援を通じて～」の４回講座を実施しました。

７.「留学生のための就職支援セミナー」

日本企業への就職を志向する留学生に、就職活動に必要な知識・スキル等を提供する「留学生のための就職支援セミナー」を開催しました。日本企業に就職した先輩との交流ラウンジは好評でした。また八王子市内外の優良企業を中心に訪問する「企業めぐり」を実施しました。「企業が求めている人材などを知り、勉強になった」等の感想が参加者から多く寄せられました。

８.「教員向け国際理解教育」

八王子市教育委員会が実施する教員向け指導力向上パワーアップ研修で、国際理解教育研修の企画・運営を行いました。

Ⅵ. 協会内の横断活動など

委員長会議、個人会員懇談会を各年１回、団体ネットワーク会議は、年１回開催しました。

①委員長会議　7月 11 日(火)

・配布資料;都民ファーストでつくる「新しい東京」（概要版）２０２０年に向けた実行プラン
東京都の成長戦略の方向性は、世界の都市ランキング１位を目指すとの説明がり、八王子市政にも影響がある旨の報告がありました。

・産業交流拠点（八王子ＭＩＣＥ都市推進センター）の整備計画概要の説明がありました。
市内駅前、明神町、旭町地区、東京都所有跡地に多摩地区最大の仮称・国際コンベンション展示場等が建設され国際交流、国際理解にも配慮した施設が誕生します。

・市制１００周年記念事業「八王子国際交流フェスティバル２０１７」の取り組み状況についての報告があり協力支援方、要請がありました。

・各委員長からの各活動報告と情報交換を行いました。

②団体ネットワーク会議　7月 11 日(火)

・配布資料：都民ファーストでつくる「新しい東京」（概要版）

・「平成２８年度地球市民プラザ会議室・団体別利用状況」を報告しました。

・「八王子国際交流フェスティバル 2017」の取り組み状況の報告と各団体に出展の要請を行いました。

・各団体の事業計画（資料配布）の説明と情報交換を行いました。

・議題として、「今後の日本語教室のあり方と取組」について話し合いました。

学習支援者の安定的確保と育成、新たな教室の確保、外国人子ども達の実態把握調査依頼や各団体間の連携を確認しました。

③個人会員研修と懇談会　7月 18 日(火)

・第１部　講話　～八王子市制 100 周年記念を迎えて～

「古代、中世、明治、大正、現代の八王子と将来を考える」

講師；黒須隆一氏（前八王子市長、八王子国際協会顧問）

・第２部　懇談会

卓話「八王子市・ドイツ・ブリーツエン市との海外友好交流協定の調印式の参列して」

講師；塚本回子氏（Ｄｒ肥沼の偉業を後世に伝える会代表）

＊交流会はお茶とコーヒなどを飲みながら、会員同士、楽しい交流と親睦を図りました。

④協会団体会員の行事に参加・交流

○八王子国際友好クラブ

・設立３０週年記念行事　7月２日（日）　八王子クリエイト・大ホール

・平成３０年“新年会”　1月 21 日（日）　北野市民センター

・八王子ＮＰＯフェスティバル（創立 30 年記念行事プレイベント）５月 27 日（土）

八王子駅北口　西放射線ユーロード

○八王子にほん語の会

日本語スピーチ大会　10 月 29 日（日）　北野市民センター・大ホール

○アジア青年の会

１０周年記念スピーチ大会　11 月３日（金）　学園都市センター第１セミナー室

○日中友好クラブ八王子支部　“春節を祝う会”　２月 11 日（日）　八王子労政会館

⑤その他　催し、イベント等に協力・支援

八王子市制 100 周年記念事業・実行委員、専門委員、第３４回全国都市緑化八王子フェア実行委員会・委員、八王子学生委員会・活動、東京都国際交流団体連絡会・事業、Ｄｒ肥沼顕彰碑記念碑の除幕式に参列、北原国際病院フェスティバル 2017・参加、八王子商工会議所・情報交換、東京八王子南ロータリーグラブ・国際交流調印式・取材、八王子テレメディア・番組出演、首都大学東京ボランティアセンター･サマボラに出展および冬期１ｄａｙに協力、法政大学地域交流ＤＡＹ２０１７，おもてなし国際協会・僕らの多摩グローバル宣言、台湾から始まる多摩グローカルフェスタ２０１８等に参加、東京都外国人おもてなし語学ボランティア育成講座・実施、八王子センター元気１５周年祭典・参加、東京日本語ボランティア・ネットワーク機関等に協力・支援をしました。

Ⅶ.「将来構想検討プロジェクト委員会」

協会活動の更なる活性化とそのための財政基盤の強化、並びに近い将来の法人化を見据えたロビー活動の強化を中心に委員会活動を推進してまいりました。

「語学シリーズ」の受講料の値上げと会員・非会員の差別化、「世界の人とふれあいタイム」の非会員への有料化等々、各委員会の皆様のご理解とご協力の下に会員の拡大と活性化、財源の確保に少しでも貢献できたものと自負しております。また団体会員の皆様の会費についても多大なご理解・ご協力を頂戴しました。

法人化につきましては、一般財団法人化の目途が付かない現状で、「法人格取得によるコンプライアンスの確保」を第一に考え、NPO 法人（特定非営利活動法人）化に踏み切るべく、理事会及び総会に提案させていただくこととしました。

＜主催事業＞

Ⅰ．生活・コミュニケーション支援事業

１．事業名：　語学ボランティア

概　　要	詳　　細
○語学ボランティア 登録者、24 言語 273 名	言語別内訳：(複数登録) 英語 130、中国語 44、韓国語 17、スペイン語 22、ドイツ語６、ポルトガル語２、ロシア語５、フランス語８、アラビア語１、ラオス語１、タガログ語１３、タイ語４、ネパール語２、モンゴル語２、ベトナム語２、ビサヤ語４、インドネシア語２、ミャンマー語１、ヒンディー語２、ビコール語１、スウェーデン語１、ベルベル語１、ウルドゥー語１ペルシア語１ 計 270 名 ☆災害時通訳ボランティア　登録者数：８言語 39 名 ☆医療通訳ボランティア　　登録者数：７言語 41 名
○通訳･翻訳件数 200 件 (含医療通訳･翻訳 36 件)	○生活支援事業の通訳 ・「サポートデスク」・「行政書士による外国人個別相談」・「外国人のための無料専門家相談会」・「日本語を母語としない親子のための多言語高校進学ガイダンス」 ○市制 100 周年式典 八王子市海外友好交流都市事業の通訳 ○八王子市より依頼された通訳 （IFSC ボルダリングワールドカップ八王子 2017 の通訳　など） ○協会の会報、各種案内などの翻訳 ○日本人･外国人市民からの依頼に基づく手紙などの翻訳 ○企業、諸団体等からの翻訳･通訳 ・東京八王子高尾ライオンズクラブの台北栄成ライオンズクラブ（台湾）との交流事業翻訳 ・日本水産㈱の試食会での通訳 ・Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会など
○語学ボランティア 防災訓練参加	○めじろ台１丁目・4 丁目合同防災訓練（めじろ台万葉公園） ・11 月 26 日(日)語学ボランティア派遣 ○みなみ野５丁目・６丁目合同防災訓練（市立みなみの中学校） ・12 月 10 日(日)語学ボランティア派遣 ○八王子市総合防災訓練（市立陵南中学校） ・８月 26 日(日)　語学ボランティア派遣 ○市民センター避難所等開設訓練（由井市民センター） ・平成 30 年２月 27 日（金)、語学ボランティア派遣
○語学ボランティア研修会の開催	語学ボランティア向けに、八王子国際協会の活動について研修を行った。 ○第 1 回語学ボランティア研修 ～サポートデスクでの対応～ 「外国人おもてなしボランティアに必要な心構え」 日時：７月 29 日（土）

	会場：国際交流室 講師： Mr. Derek Wessman (President of Jataki Company) 対象：英語語学ボランティア 参加者：12 名 〇第２回語学ボランティア研修 ～サポートデスク（外国人相談コーナー）に必要な心構え」 日時：12 月２日（土） 会場：国際交流室 講師： Mr. Derek Wessman (President of Jataki Company) 対象：英語語学ボランティア 参加者：６名 〇第３回語学ボランティア研修 ～語学ボランティアの心構え～ 「学習支援・国際理解の視点から」 日時：平成 30 年１月 20 日（土） 会場：国際交流室 講師：花輪豊子　（当協会事務局員） 対象：語学ボランティア 　　これからボランティアをしようと考える方 参加者：16 名 〇第４回語学ボランティア研修 ～語学ボランティアの心構え～ 「八王子での にほんご学習支援の場」 日時：平成 30 年２月 10 日（土） 会場：国際交流室 講師：貝嶋康文　（当協会副事務局長　八王子にほんごの会会員） 対象：語学ボランティア 　　これからボランティアをしようと考える方
〇プロジェクト委員会	参加者：４名 〇年５回開催（10/8、11/25、１/27、2/24、３/24）

成果：
＊八王子市から翻訳依頼は減少したが様々な団体や個人からいろいろな翻訳依頼が増加した。
＊医療通訳 36 件で、定期的な依頼も多い。また、八王子市内だけでなく都立病院など様々な施設からの問い合わせや依頼があった。精神科に関する通訳件数が増加した。
＊「進学ガイダンス」「外国人のための専門家相談会」だけでなく、月１回開催される「行政書士相談」でも英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、タガログ語の語学ボランティアが参加し、法律相談の知識を深めた。
＊中国語語学ボランティアが週２回午後常駐し、サポートデスクで中国語での相談ができた。
＊防災・災害対応委員会との連携で今年度も実践的な研修が実施できた。
課題：
＊語学ボランティア登録制度ができてから 8 年が経過した。語学ボランティアのあり方について語学ボランティア検討プロジェクトで検討を進めている。
＊ボランティア活動の機会が増えるよう引き続き語学ボランティアの周知度を高めていく。
＊さまざまな依頼に応えられるよう、今後も語学ボランティアのレベルアップのための取り組みが必要である。

２．事業名：　医療ボランティア （委員会）

概　　要	詳　　細
○医療通訳研修会開催 （一般市民対象）	○第 12 回医療通訳ボランティア研修会 ・開催日：11 月５日（日） ・場所：学園都市センター　第５セミナー室 ・講師：中村 春木氏 （医学博士、臨床検査技師、通訳案内士、通訳専門学校校長） ・テーマ：メンタルケアとロールプレイ ・参加者：30 名 ・受講料:500 円 ○13 回医療通訳ボランティア研修会 ・開催日：平成 30 年 3 月 4 日（日） ・場所：学園都市センター　第５セミナー室 ・講師：RASC コミュニティ通訳支援センター代表 西村　明夫氏 ・テーマ：医療通訳者に求められる共通基準～身体組織を例として ・参加者：43 名 ・受講料：無料
○医療通訳･翻訳	○医療通訳･翻訳件数　36 件
○委員会	○年 11 回開催（４/13、５/26、６/16、７/26、９/14、10/25 11/16、12/14、1/18、２/８、３/22）

成果：
＊一般市民を対象とした医療ボランティア研修会の開催により、参加者の医療知識や医療通訳技術のスキルアップともに、一般市民への周知や啓蒙を図ることができた。
＊第 13 回研修会は、協会では初めてとなる自治体国際化協会（クレア）の国際化推進アドバイザー派遣制度を活用して開催し、新たな展開が図れた。
＊医療ボランティア通訳者の養成を目的とした簡易型カリキュラムの策定及び医療ボランティア通訳者を病院・医師賠償保険の対象者とするよう、関係先に働きかけた。
課題：
＊医療ボランティア委員会委員が少ないので、増員を図る。
＊市内医療機関との連携を促進する方策を検討する。

３．事業名：　防災・災害対応　（委員会）

概　　要	詳　　細
○防災訓練等への参加	○八王子市総合防災訓練（市立陵南中学校体育館） ・8 月 26 日(土) 八王子市総合防災訓練に外国人７名（内留学生４名)、語学ボランティア７名（内外国人３名）や防災・災害対応委員会委員３名、協会事務局２名が参加した。従来の防災訓練とは違った夜間発災型及び夜間宿泊型の防災訓練であった。 ○市民センター避難所等開設訓練（由井） ・平成 30 年２月 27 日（火)、留学生１名、語学ボランティア２名（英語)、防災・災害対応委員会委員１名、協会事務局３名が参加した。「多摩西部に M7.3 の大地震が発生し、ただちに、協会内に外国人支援センター設置、避難場所に指定されている市民センターに避難してきた外国人に対して、付近に居住する協会の語学ボランティアが通訳などの支援に駆けつけるという想定で実施した。 ○八王子国際交流フェスティバル 2017 内での防災訓練 ・11 月 12 日(日)、国際交流フェスティバルの行事の一環として、一般来場者を対象とした防災訓練を実施し、AED の使用方法、心肺蘇生訓練などを行なった。
○委員会	○年３回開催　（５/29、８/10、11/16）

成果：

＊市民センター避難所等開設訓練は、平成 24 年に初参加以来、市内にある 17 ある市民センターのすべての防災訓練に参加したことになる。

＊八王子市の総合防災訓練は、初体験となる夜間発災型の宿泊訓練であり、非常に有益であった。

課題：

＊支援スキームの周知度は道半ばであり、関係先や外国人へのさらなる周知策が必要である。

４．事業名：　学習支援　（委員会）

概　　要	詳　　細
○北野学習支援教室 北野市民集会所で運営	○北野学習支援教室 ・学習日時：毎週水曜日　15:00～19：00 ・４月～３月まで全 40 回 ・平成 30 年３月末の学習者累計数：21 名
○八王子駅前学習支援教室 八王子国際協会会議室で運営	○八王子駅前学習支援教室 ・学習日時：毎週月曜日　16：00～19：00 ・４月～３月まで全 37 回 ・平成 30 年３月末の学習者累計数：23 名
	○支援者ミーティングを開き学習支援の情報･状況等を共有し、より良い学習の環境づくりを常に検討した。 ○対象児童・生徒は通学の利便で教室を選択している。 ○学習者１人につき 2,000 円（きょうだい学習者は、1,500 円）を学期毎に納入してもらい、教科書・参考書・会議室利用代など運営費の助成としている。
○日本語を母語としない親子のための高校進学ガイダンス 保護者を交え通訳を配し開催	○ガイダンスに先立つ通訳者への事前研修 ・研修会：平成 29 年 10 月７日(土) 参加者：10 名 日本の教育制度･高校入試の仕組みや用語を事前に研修した。 ○高校進学ガイダンス ・実施日：平成 29 年 10 月 22 日(日) ・学園都市センターギャラリーホール ・参加者：37 名　（内訳：相談者生徒 18 名、保護者付添など 19 名） ・スタッフ：中学・高校教諭、ボランティアなど　50 名が協力した。
○児童・生徒の活躍の様子	○児童・生徒の活躍の様子 国際交流フェスティバル 2017 において、学習支援教室で学ぶ児童・生徒５名が「日本で学んだこと」などを中心に日本語でスピーチを行い、好評を得た。また、会報 57 号では、４名の児童・生徒の「学習支援教室で学ぶことの思い」等を作文にしたものが掲載された。
○委員会	○年 11 回開催 毎月第１水曜日（８月を除く)、支援の前に委員会を開催

成果：

＊学習支援を永年継続している支援者が多くなり、学習支援のみならず子ども達の生活や進路への知識で支援を助けている。今年度、高校進学希望者は全員合格して進学を果たした。

課題：

＊近年成長してから来日する児童・生徒の数が増え、日本語の習得が十分でない上記の児童・生徒が目立っている一方、日本生まれの日本育ちで多言語・多文化で育つ子どもの学習用語の不足が目立っている。これら学習者にとって、日々の学校生活は文化や言葉の異なる障害が存在し、支援の充実だけではクリアできない問題として残っている。

５．事業名：　日本語ボランティア養成講座

概　　要	詳　　細
○「日本語ボランティア・（続）ステップアップ講座」の開催 ○委員会	○日本語ボランティア（続）ステップアップ講座 ・開催日：２月 10 日(土)～３月 31 日(土)　　全４回 ・会場：八王子学園都市センター ・対象者：日本語ボランティアをしている方 （当協会会員と当協会団体会員メンバー） ・参加費：無料 ・受講者数：39 名 ・講師：西郡　仁朗　氏 （首都大学東京教授、人文科学研究科 人間科学専攻 日本語教育学教室） ・講座内容 ＊外国人から見た日本語の「敬語」とポライトネス ＊外国人には難しい日本語の音韻、カテゴリーとしての知覚 ＊ビデオ素材を使った活動　「言語景観」「オノマトペ」 http://nihongo.hum.tmu.ac.jp/mic-j/″ ＊多様な学習者～EPA 介護福祉士候補者への学習支援を通じて～ ○日本語学習支援者へのサービスを提供 日々外国人の日本語支援の行っている方（当協会会員と当団体会員メンバー）にスキルアプの場を提供した。 ○年６回開催　（３/18、４/５、７/15　８/５　10/７　３/31）

成果：
＊予算に余裕があったので、日々外国人の日本語支援の行っている方（当協会会員と当団体会員メンバー）に無料でスキルアップの場を提供できた。

課題：
＊地域日本語教室では、常に日本語ボランティアが足りないので、日本語ボランティアの認知度を高め、日本語ボランティアを増やす必要がある。また日本語ボランティアの育成は、地域日本語教室を主宰している団体と協力する必要がある。

６．事業名：　外国人おもてなし語学ボランティア育成講座

概　　要	詳　　細
○東京都と共催で講座開催 ○第４回（４－５月） 英語初級者向け 英語上級者向け	○第４回「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」 会場：学園都市センター ・英語上級者向け ４月 16 日(日)参加者：48 名 ・英語初級者向け ４月１日(土)～５月 20 日(土)　全：５回 参加者：36 名　(応募者：96 名) ・八王子外国人語学ボランティア修了者の集い 八王子国際協会の案内 会場：国際交流室 ５月 20 日(土)　(講座最終日) 参加者：30 名
○第５回（９月） 英語初級者向け	○第５回「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」 会場：学園都市センター ・英語初級者向け ９月２日(土)～９月 30 日(土)　全：５回 参加者：36 名　(応募者：56 名) ・八王子外国人語学ボランティアの修了者の集い 八王子国際協会の案内 会場：国際交流室 ９月 30 日(日)　(講座最終日) 参加者：28 名
○第６回（１－２月） 英語初級者向け	○第６回「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」 会場：学園都市センター ・英語初級者向け 平成 30 年１月 20 日(土)～２月 17 日(土)　全：５回 参加者：36 名　(応募者：70 名) ・八王子外国人語学ボランティアの修了者の集い 八王子国際協会の案内 会場：学園都市センター 平成 30 年２月 17 日(日)　(講座最終日) 参加者：32 名
○第２回八王子外国人おもてなし語学ボランティアの集い	○第２回八王子外国人おもてなし語学ボランティアの集い ・開催日：８月３日（木）　10:00～12:00 ・会場：学園都市センター第３・４セミナー室 ・会費：500 円　(会員は無料) ・参加者：24 名 ・内容 １）スピーチ「ジャマイカの紹介」　(約 50 分) ラディーム・ブッダイ氏　小学校の英語教師 ２）グループ・ディスカッション（約 60 分）

○第３回八王子外国人おもてなし語学ボランティアの集い	○第３回八王子外国人語学ボランティアの集い ・開催日：10 月 22 日（日）　　10:00～12:00 ・会場：学園都市センター第１セミナー室 ・会費：500 円　（会員は無料） ・参加者：28 名 ・内容 １）スピーチ「セネガルの紹介」　（約 40 分） マネ・ラミン氏　創価大学留学生 ２）ワンポイントレッスン「米国の日常会話」　（約 40 分） マネ・ラミン氏　語学ボランティア（英語） ３）グループ・ディスカッション（約 20 分） 参加者のグループでの話し合い
○「八王子外国人語学ボランティア英語交流会」 修了生に加えて“おもてなし”活動に興味のある市民にも 参加を呼びかけて実施	○八王子外国人語学ボランティア英語交流会 ・開催日：平成 30 年３月 24 日（土）　　10:00～12:00 ・会場：学園都市センター第１セミナー室 ・会費：500 円　（会員は無料） ・参加者：41 名 ・内容 １）スピーチ「サウジアラビアの紹介」　（６０分） 話し手：クレディ・ラミン氏　東京工科大学留学生 ２）グループ・ディスカッション（５０分） 参加者のグループでの話し合い
○ボランティアが新しく委員会立ち上げて、企画・運営を実施	第２回･第３回「八王子外国人おもてなし語学ボランティアの集い」「八王子外国人語学ボランティア英語交流会」の計画と運営は、ボランティア（３名）が新しく委員会を立ち上げて実施している。

成果：
＊「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座を開催して、116 名の受講者を得た。
＊「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座終了後、八王子国際協会の活動についてなどを PR した。
＊講座修了生を対象に２回同窓会を開催して、修了生同士の交流の輪を広げるとともに、八王子国際協会の活動への参加を呼び掛けた。
また、３回目は、講座修了者だけではなく“おもてなしに興味のある人”も対象にして、「八王子外国人語学ボランティア英語交流会」と命名して、広報「はちおうじ」で参加者を募った。
40 名を超える応募者があり、大盛況で活発で楽しい集いになった。
課題：
＊「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座の希望者（抽選）が多く、まだ参加できない方が多い。
＊育成講座修了後および同窓会などに参加後、八王子国際協会の活動に参加する方がまだ少ない。

Ⅱ．国際交流事業

１．事業名：　八王子国際交流フェスティバル　（委員会）

概　　要	詳　　細
○八王子国際交流 フェスティバル ・開催日： 11 月 12 日(日) 11：00～17：00 ・来場者：1,350 名 ・協力外国人の参加： 15 か国　100 名 ・JICA 東京 八王子学生委員会と共催 協力：八王子市 ・テーマ 「出愛・ふれ愛・学び愛 “Welcom to Hachioji from the world”」 八王子市制 100 周年記念事業	○八王子国際交流フェスティバル 2017 ・ステージ オープニング・ セレモニー・おみこしと園児の合奏 日本語を学ぶ小中学生のスピーチ・小中学生の英語スピーチ JICA パネルディスカッション・ステージパフォーマンス ・異文化交流：12 か国の出展 ワールドスタンプラリーで出展者との挨拶を交わす交流 ・World kids Land World party 世界の遊び（５ケ国)、Kids Activity(セミナー) ・日本語スピーチには、８人（４ケ国）が参加 スピーチの後はお茶席に招待。 ・JICA の展示コーナー 民族衣装試着､海外ボランティアの講演｢インドネシアの体験談｣ ・市民から応募「笑顔の写真展」を実施（応募総数：54 件） 来場者による｢シール投票｣の数で優秀賞を決定し表彰。 高尾登山電鉄（株)、高尾山薬王院、(公）八王子コンベンション協会、相模湖プレジャーフォレスト、NTT 東日本、八王子市などから提供された協賛品を賞品として授与。 写真展の結果発表と表彰式では、学生委員会のメンバーがユニークなパフォーマンス。 ･八王子消防署の協力で、防災・救急訓練を防災・災害対応委員会が実施。 ･Dr.肥沼の偉業を知る展示や講演は､多くの来場者の共感を得た。 ・書道・折り紙・お手玉などの日本の遊びは、外国人の人気が高かった、また、中高生によるレインボールーム、バルーンアートには、子どもたちがたくさんが集まった。 ・ゆるキャラ｢松姫マッピー｣、ター坊腹話術、イス・ヨガ、似顔絵コーナー、など盛りだくさんの催し。 ・協会団体会員の出展による活動紹介や外国人のための行政書士による相談会を実施。 ・福祉団体が手作り菓子や作品を販売。 ・八王子の多言語観光案内やごみ分別処理・環境改善の展示（多言語ごみカレンダー配布等）など PR と啓発活動を展開。 ・フェスティバル・ポスターを制作した学生の作品を展示。 ・日本人市民をはじめ、外国人市民･留学生･学生･ボランティアのグループなどの協力で、市民と外国人市民との盛んな交流 ・来場者が楽しく国際交流を経験し、国際理解を学ぶ広場を提供。 ○マスメディアでの紹介 Ｊ：ＣＯＭ八王子　放映 ミニコミ誌での紹介（ショッパー、もしもし新聞、よみっこ等）

○委員会	○年 10 回開催 （３/29、４/13、４/27、６/１、７/６、８/２、９/５、９/28、10/24、11/７、11/12 当日、12/11 反省会）

成果：
＊学生委員会からの当委員会へ組織的な参加があり、また国際ボランティア愛好会、中山ゼミ、岡田ゼミなど、大学からの積極的なボランティ参加があり、約 100 名の学生・当国際協会の会員、外国人市民のボランティアの協力で、会場準備と後片付けもスムーズにできた
＊15 か国 100 名の外国人の参加で国際色豊かなフェスティバルが開催できた。
＊JICA 東京が八王子市制 100 周年記念事業として取り組み、パネルディスカッションやスタンプラリーなど新しい取り組みを行った。
＊田中委員長の企画で“World kids Land”として、小中学生の英語・日本語スピーチ、世界の遊び、Kids Activity などを新しく実施した。
＊幼稚園児の盆踊りや中高生によるお茶席、遊びのひろばで、家族ぐるみで子どもから大人までが楽しめるフェスティバルが提供できた。
＊八王子消防署と防災･災害対応委員会の協力で、AED 取扱い包帯法などの応急救護訓練を行った。
課題：
＊来年度は、八王子国際協会の１０周年のイベントと連携したフェスティバルにする
＊フェスティバルを準備する当協会の事務局員の負荷が非常に大きくなっている、負荷軽減の方策を考える必要がある。

２．事業名：　世界の人とふれあいタイム　（委員会）

概　　要	詳　　細
○世界の人と ふれあいタイム実施	○世界の人とふれあいタイム ・第82回　５月21日(日)　参加者：40名 国：中華人民共和国 ゲスト:近藤琳氏 ・第83回　7月16日(日)　参加者：52名 国：パプアニュ―ギニア独立国 ゲスト：サムソン・ヤボン(Samson Yabon)氏(臨時代理大使) ・第84回　９月10日(日)　参加者：54名 国：ドイツ連邦共和国 ゲスト：アレクサンドラ・シュワルツ(Alexandra Schwarz)氏 ・第85回　12月17日(日)　参加者：105名 国：タイ王国 ゲスト：西尾スパポーン氏 ・第86回　平成29年２月４日(日)　参加者：55名 国：オーストラリア連邦 ゲスト：タイ･コナル（Mr.Tadhg O Conail）氏
○ミニコミ誌に掲載	○ミニコミ誌に紹介された パプアニューギニア独立国の話：もしもし新聞、よみっこ ドイツ連邦の話：ショッパー、もしもし新聞、よみっこ タイ王国の話：もしもし新聞 オーストラリア連邦の話：もしもし新聞
○委員会	○年５回のイベントの終了後に、反省会を開催し、次回のゲストスピーカーとの打合せを行った。 （５/21、７/16、9/10、12/17、２/４）

成果：
＊多彩な外国人ゲスト・スピーカーを招き、楽しいふれあいタイムができた。
　スピーカーは皆、自国の歴史・文化や現状などを映像や音楽をまじえて熱心に具体的に紹介した。、「身近にその国のことが理解できた」と、参加者アンケートは大変評判が良かった。
＊参加料：300 円（当協会会員は無料）としたが好評である。
　この会を楽しみにしている常連客も多く、会場は毎回満席になっている。
課題：
＊ゲスト・スピーカーの選定や折衝が大変である。人脈や情報源を広げて、たくさんの人にスピーカーを紹介してもらう活動を引き続き行っていく。

３．事業名：　地域における国際交流　（八王子いちょう祭に参加）

概　　要	詳　　細
第 38 回八王子いちょう祭り祭典に参加	○八市制１００周年記念「第３８回八王子いちょう祭」りは、11 月 18 日（土）、19 日（日）の２日間、祭典広場内・学生広場で開催されました。 初日は雨模様で出足は少なかったが、２日目は好天に恵まれ、両日で約５０万の来場者で賑わいました。 ○八王子国際協会は、世界の人と国際交流・国際理解をテーマに参加しました。 外国人市民によるステージパフォーマンは、初日は雨模様で中止（インドネシア、中国を予定）しましたが、２日目はフイリピン・プロチームによる民族音楽を披露し好評を得ました。 外国人留学生 11 名参加による多言語案内、通訳や来場者、学生との交流等は貴重な国際交流の体験にもなりました。 多言語版　災害ヘルプカード、ごみカレンダー等の配布･展示等の啓発活動に努めました。 フェスブックなどインタネットを利用した情報提供も行いました

成果
・八王子いちょう祭りイベント参加や当委員会刊行物等（チラシ等）の紹介で八王子国際協会の知名度の向上や国際交流。国際理解の啓発活動に繋がりました。
・学生委員会との連携や留学生の地域交流や日本文化理解には、貴重な体験になりました。

課題
「八王子国際交流フェスティバル」の開催時期とも重なり人的、予算的にも制約がる。
2020 年、東京オリンピック・パラリンピック開催を目途に新たな取り組みが必要になる。

Ⅲ．国際理解事業

１．事業名：　語学シリーズ　（委員会）

概　　要	詳　　細
○市民に語学学習を通して、その国の文化・歴史を理解してもらい、国際理解や多文化共生社会の促進に貢献 ○「語学講座」の開催 5 言語 19 コースの講座を木曜日、金曜日及び土曜日に実施	○春期講座： ・ステップアップ・フランス語　全 10 回 開催日：５月 11 日(木)～７月 13 日(木) 講師：ステファン　デュセリエ氏 受講者：26 名 ・初めてのイタリア語　全 10 回 開催日：５月 11 日(木)～７月 13 日(木) 講師：スッチ　マッシモ氏 受講者：18 名 ・英会話中級　全 10 回 開催日：5 月 11 日(木)～7 月 13 日(木) 講師：ポール　マッカン氏 受講者：18 名 ・異文化理解のための英文講読　全 10 回 開催日：5 月 12 日(金)～７月 14 日(金) 講師：キャロリン オバラ氏 受講者 18 名 ・初めてのドイツ語　全 10 回 開催日：5 月 12 日(金)～7 月 14 日(金) 講師：鈴木　ゲルギナ氏 受講生：20 名 ・おもてなし英語 開催日：5 月 13 日(土)～7 月 15 日(土) 講師：ポール　マッカン氏 受講生：25 名 ・ネイティブと学ぶやさしい英会話　全 10 回 開催日：5 月 13 日(土)～7 月 15 日(土) 講師：ポール　マッカン氏 受講者：20 名 ○秋期講座： ・ステップアップ・フランス語　全 10 回 開催日：9 月 28 日(木)～12 月 7 日(木) 講師：ステファン　デュセリエ氏 受講者：26 名 ・初めてのイタリア語　全 10 回 開催日 10 月 5 日(木)～12 月 14 日(木) 講師：スッチ　マッシモ氏 受講者：18 名 ・英会話中級　全 10 回 開催日 9 月 28 日(木)～12 月 7 日(木)

	講師：ポール　マッカン氏 参加者 15 名 ・初めてのタイ語 開催日：9 月 29 日(金)～12 月 8 日(金) 講師：西尾　スパポーン氏 受講者：9 名 ・異文化理解のための英文講読　全 10 回 開催日： 9 月 29 日(金)～12 月 8 日(金) 講師：キャロリン　オバラ氏 参加者 19 名 ・初めてのドイツ語　全 10 回 開催日：9 月 29 日(金)～12 月 8 日(金) 講師：鈴木　ゲルギナ氏 受講生：9 名 ・英会話上級　　全 10 回 開催日：9 月 30 日(土)～12 月 2 日(土) 講師：ポール　マッカン氏 受講生：10 名 ・おもてなし英語 開催日：9 月 30 日(土)～12 月 2 日(土) 講師：ポール　マッカン氏 受講生：25 名 ・ネイティブと学ぶやさしい英会話　全 10 回 開催日：9 月 30 日(土)～12 月 2 日(土) 講師：ポール　マッカン氏 受講者：23 名 ○冬期講座： ・ステップアップ・フランス語　全 10 回 開催日：平成 30 年 1 月 25 日(木)～4 月 5 日(木) 講師：ステファン　デュセリエ氏 受講者：26 名 ・初めてのイタリア語　全 10 回 開催日：平成 30 年 1 月 11 日(木)～3 月 22 日(木) 講師：スッチ　マッシモ氏 受講者：19 名 ・英会話中級　全 10 回 開催日平成 30 年 1 月 11 日(木)～3 月 22 日(木) 講師：ポール　マッカン氏 参加者 16 名 ・初めてのタイ語 開催日：平成 30 年１月 12 日(金)～３月 16 日(金) 講師：西尾　スパポーン氏 受講者：11 名 ・ネイティブと学ぶメディア英語　全 10 回 開催日：平成 30 年１月 12 日(金)～３月 16 日(金) 講師：キャロリン オバラ氏

	受講者：22 名 ・ステップアップ・ドイツ語　全 10 回 開催日：平成 30 年 1 月 12 日(金)～３月 16 日(金) 講師：鈴木　ゲルギナ 受講者：8 名 ・英会話上級　　全 10 回 開催日：平成 30 年 1 月 13 日(土)～３月 17 日(土) 講師：ポール　マッカン氏 受講生：22 名 ・おもてなし英語 開催日：平成 30 年 1 月 13 日(土)～３月 17 日(土) 講師：ポール　マッカン氏 受講生：13 名 ・ネイティブと学ぶ やさしい英会話　全 10 回 開催日：平成 30 年 1 月 13 日(土)～３月 17 日(土) 講師：ポール　マッカン氏 受講者：20 名 年 5 回開催（4/13、6/22、9/12、12/22、2/6 ）
○委員会	

成果：
＊東京オリンピック・パラリンピックを控えて「おもてなし英語」、「英会話中級」、「英会話上級」、「ネイティブと学ぶメディア英語」、「初めてのタイ語」を新設し、年間 5 言語、25 コースとなった。市民に国際性の向上や多文化共生の重要性を認識する機会を提供している。
＊協会会員には受講料の割引を行うことで、会員増につながった。
課題：
＊講師の確保、最適な受講者数（現在は最大 26 名）などが当面の課題である。
＊会場が民間ビルの地下室のため、学習環境に多少の問題がある。

２．事業名：　国際理解教育

概　　要	詳　　細
○国際理解教育授業への協力 学校へ外国人講師を派遣	○学校での国際理解教育授業への協力 ・実施校：小学校２校・中学校１校（2 回：2 学年） ・外国人ボランティア講師（協力者数：７か国、11 名） タイ、中国、セネガル、フィリピン、サウジアラビア、ラオス、マレーシア ・学校と外国人ボランティア講師とは、事前打ち合わせをしっかり行い授業の充実をはかっている
○協会での職場体験等受入れ	○研修等の受入れ ・現役教員のキャリア研修として職場体験を受入れ（８月） ・市内中学生の職場体験活動の受入れ（９月、３月）
○国際理解講座	○国際交流フェスティバル 2017 で、国際理解教育ワークショップを開催 ・「世界の食卓」をテーマに「フォトランゲージ」の手法を使い、展開をした。
○委員の研修	○委員の知識・手法等のレベルアップのために研修をした。 ①国立民族博物館より、みんぱく「アラビアンナイト」を取り寄せ、授業への活かし方などを研修した。（５月 31 日） ②JICA 地球広場で国際協力等について、ワークショップ国際理解教育の手法等を研修した
○委員会	○年６回開催　（４/20、５/31、８/31、10/20、１/13、３/23）

成果：

＊委員会と学校の担当教師が話し合い授業づくりに取り組んだ結果、どの授業も子どもたちの生き生きした表情がみられた。また協力した外国人ボランティア講師も良い経験ができたと、双方に好評を得ている。小学校・中学校共に、英語教育に関連した授業協力が多くなった。

＊毎年依頼のある学校・前任校での経験に基づき新たに依頼のある学校など、教員による協会への関心・信頼が高まってきた。

課題：

＊国際理解教育授業を行う学校の意識が向上しつつあり、道徳・環境・キャリア教育などの分野と連携した授業プランが増えている。それらの授業にふさわしい協力ができるように、外国人ボランティア講師を育成する必要が出てきている。

＊学校への外国人講師派遣の人選にあたり、適性・日時・諸費用などの調整に苦労する。

また、学校や外国人ボランティア講師との反省や次への取り組みへの検討をする機会を持つことなど、より良い授業協力につなげる体制づくりが必要である。

＊東京オリンピック・パラリンピックを前に、東京都教育委員会の推進する東京都オリンピック・パラリンピック教育に関連する授業提案と連携して、学校の国際理解教育推進に一層協力できるよう体制づくりをしていく必要がある。

Ⅳ．広報事業　（委員会）

概　　要	詳　　細
○会報の発行	○会報「地球市民プラザ八王子だより」 ・偶数月に発行(第 53 号～第 58 号)、広報委員会で紙面の企画・構成を検討し、各委員会に原稿作成を依頼し、編集した。 ・八王子国際協会の団体会員と賛助団体会員の活動内容を掲載した。（カラー印刷で提供して、好評を得ている。） ・周辺の国際（交流）協会（武蔵野市・町田市・多摩市)、インタビューを通じて広報活動の改善に繋げるための活動を行い、その内容は会報にも都度掲載しました。 ・会報をホームページへ転載した。 （日本語版とともに英語･中国語版の会報も掲載） ・会報を市民センター・市事務所・関連施設に配布・掲示して来た。 ・全市議会議員に会報を送付して当協会活動の理解と周知を図った。
○ホームページの維持・管理	○情報発信 ・新着情報（“What’s New”）で、講座の開催案内やイベントへの参加募集など、1 年間に 35 件の情報発信をした。 ○ホームページ・アドレスの相互交換 関係団体とホームページ・アドレスの相互交換をした。 ○語学ボランティアや外国人市民を対象に Facebook で、当国際協会の催し物や活動状況をタイムリーに発信した。
○市の広報紙、J:COM 八王子、新聞、ミニコミ紙などを通じて活動情報を提供	○市広報紙での広報活動 「広報はちおうじ」や外国人向情報紙「Ginkgo」、外国人のモバイル情報などに講座やイベント情報を提供 ○テレビ、新聞、ミニコミ紙、活動情報を提供 ①ボルダリング・ワールドカップ ・読売新聞多摩版（４月）ボルダリングワールドカップが八王子で開催され、当協会の語学ボランテイアが活躍予定 ・読売新聞多摩版（５月）ボルダリングワールドカップ開幕 2000 人が観戦、当協会の語学ボランテイアが通訳で大活躍 ・読売新聞多摩版（11 月）ボルダリングワールドカップ来年度も開催。当協会の語学ボランテイアが通訳で活躍予定 ②オリンピック関連 ・タウンニュース（９月）海外選手団いらっしゃい 上柚木運動公園の活用、当協会の語学ボランテイアが活躍 ③国際交流フェスティバル関連 読売新聞多摩版（朝刊）：フェスティバス実施の報告 J:COM 八王子　放映 ・ショッパー（10 月）・よみっこ（９月）・リビング多摩（11 月） ・もしもششんぶん(11 月)

	③世界の人とふれあいタイム ・ショッパー（４月）：セネガルの話の開催を紹介 ・ショッパー（９月）：サウジアラビアの話の開催を紹介 ・もしもし新聞（６月）：パプアニューギニアの話の開催を紹介 ・もしもし新聞（９月）：ドイツの話の開催を紹介 ・もしもし新聞（12 月）：タイの話の開催を紹介 ・もしもし新聞（２月）：オーストラリアの話の開催を紹介 ・「よみっこ」（７月）：パプアニューギニアの話の開催を紹介 ・「よみっこ」（８月）：ドイツの話の開催を紹介 ④地域における国際交流（八王子いちょう祭に参加） ・ジェイコム八王子（J:COM）当日の民族音楽・民族舞踊の模様はニュースや特集番組で放映 ⑤講座案内 ・わかりやすい日本語講座：もしもし新聞（２月） ・外国人おもてなし語学ボランティア養成講座：よみっこ（7 月）
○「はちコミねっと」を活用し情報発信をした	○「はちコミねっと」（八王子市の地域活動に気軽に参加できることを目的として、八王子市が開設したサイト）に、八王子国際協会も登録して、 様々な市民活動団体や市民向けに協会の活動を紹介する活動（協会の活動紹介、会員募集、各イベントの紹介と参加募集）を行った 「世界の人とふれあいタイム」「日本語ボランテイア講座」「やさしい日本語講座」「八王子国際交流フェスティバル」等を掲載した。新しい参加者が増えている。
○平野理事長の紹介記事	○もしもし新聞（6 月）「たまひと」欄（理事長インタビュー記事） 「八王子に住む外国人・留学生が八王子に住んで良かったと思えるように」したい
○オトパに出展	○第 18 回お父さんお帰りなさいパーティ 平成 30 年３月 10 日（土） 会場の八王子労政会館に、出展して当会の活動をアピールして会員の募集活動を行った。 また、団体紹介冊子に当協会の紹介案内に掲載された。
○八王子 NPO フェスティバルに出展	○（八王子市制 100 周年事業）八王子 NPO フェスティバルに参加 ５月 27 日に八王子国際友好クラブと一緒に出展した。
○大学との連携	○首都大学東京ボランティアセンターとの連携 ・サマボラ 2017（７月 20 日、21 日）に出展、当協会の活動を説明した。 ・１day ボランティア（11 月 12 日～12 月 10 日）に参加、学習支援（駅前・北野教室）でのボランティアの場を提供した。 ○拓殖大学国際学部岡田ゼミとの連携 ５月に岡田ゼミの学生が当協会に来訪しお互い情報交換をした。その後、主要なイベントの案内を行い、ゼミ生が参加している。八王子国際交流フェスティバルには、ゼミ生 15 名がボランティア

	として参加した。
○団体会員との連携	○HIFC の 30 周年式典(7 月)に参加 ○八王子にほんごの会スピーチ大会（10 月）に出席 ○アジア青年会の 10 周年記念イベントに（11 月）出席 ○HIFC の新春の集い（１月）に参加 ○日中友好協会の春節を祝う会に参加 ○北原病院フェスティバル(12 月)を見学 ○八王子南ロータリークラブ､サイパンロータリクラブとの友好締結式を取材
○市民団体との連携	○Dr.肥沼の偉業を後世に伝える会との連携 Dr.肥沼の会に実行委員として参加、事業や催し物および会報掲載等に協力した。 顕彰碑除幕式（９月３日）に出席 ヴリーツェン市訪問団歓迎式典と懇親会（10 月１日） 実行委員会定例会に出席
○委員会	○年 13 回開催 （４/11、４/19、６/９、６/19、８/８、８/22、10/10、10/19、12/７、12/18、２/７、２/19、３/19）

成果：
＊積極的な広報活動により、各種メディアや地域情報誌等に当協会の活動が紹介されて、認知度が高まった。
＊協会会報に団体会員や協賛団体会員の紹介欄を連載して、各団体の活動状況が周知され情報の共有化が図れた。
＊ホームページ、Facebook からの情報発信を活発に行い、講座・イベントの参加者増加に貢献した。
課題：
＊会員がより見やすく、より興味を持って見ていただける会報やホームページ作りを進める。

Ⅴ．八王子市からの受託事業

１．事業名：　在住外国人のためのサポートデスク

概　　要	詳　　細
○外国人のための生活相談、専門家の窓口紹介、暮らしの情報提供	○サポートデスク対応相談 ・相談日時：月～土曜日　午前 10 時～午後５時 ・相談件数：1,088 件(29 年４月～30 年３月) （生活相談 265、日本語支援 230、就職相談 17、ボランティア希望 126、住宅 4、就労 6、医療 43、その他 397） ・相談内容：日本語支援、ボランティア、住居、学習支援、進学ガイド、ビザ、医療通訳・通訳・翻訳　就職相談、就労、解雇　離婚　入籍 外国人コミュニティの紹介、子育て、家族の問題、病院紹介、健康診断、ストレス　、DV, 年金、ゴミ処理、カード申請、生活支援金 運転免許書き換え、盗難、旅行保険、不当な請求　他 ・相談者国別人数：計 1083 名 （日本 447、中国 157、韓国 17, フィリピン 136、ペルー26、ブラジル 7、アメリカ 22、他 39 か国 271）
○行政書士による外国人個別相談の実施	○行政書士の相談内容 ・相談日：毎月第２土曜日　午後２時～５時 ・相談件数：24 件(４月～29 年３月) ・相談内容：ビザ、離婚、帰化、遺言・遺産相続、教育費、医療、職場でのケガ、国際結婚、定住権・永住権取得　等
○語学ボランティアの活動	○語学ボランティアが次の場で通訳を行った ・「サポートデスク」 月曜日午後、10 月から月曜日午後と水曜日午前に中国語語学ボランティアが常駐し、中国語相談対応をおこなった。 ・「行政書士による外国人個別相談」 英語、中国語、スペイン語の通訳が常駐、必要に応じてタガログ語の通訳が同席して多言語対応を行った。
○語学ボランティア研修	さまざまな場面で活動する語学ボランティア向けに、八王子国際協会の活動について研修を行った。 ○第１回語学ボランティア研修 ～サポートデスクでの対応～ 「外国人おもてなしボランティアに必要な心構え」 日時：７月 29 日（土） 会場：国際交流室 講師： Mr. Derek Wessman (President of Jataki Company) 対象：英語語学ボランティア 参加者：12 名 ○第２回語学ボランティア研修 ～サポートデスク～「外国人相談コーナーに必要な心構え」 日時：12 月２日（土）

	会場：国際交流室 講師： Mr. Derek Wessman (President of Jataki Company) 対象：英語語学ボランティア 参加者：６名 ○第３回語学ボランティア研修 ～語学ボランティアの心構え～ 「学習支援・国際理解の視点から」 日時：平成 30 年１月 20 日（土） 会場：国際交流室 講師：花輪豊子　（当協会事務局員） 対象：語学ボランティア これからボランティアをしようと考える会員 参加者：16 名 ○第４回語学ボランティア研修 ～語学ボランティアの心構え～ 「八王子での にほんご学習支援の場」 日時：平成 30 年２月 17 日（土） 会場：国際交流室 講師:貝嶋康文　（当協会副事務局長 八王子にほんごの会々員） 対象：語学ボランティア これからボランティアをしようと考える会員 参加者：４名

成果：

＊八王子市の在住外国人が１万２千人を超え、問題は複雑化し多様化しているが、専門家や他機関とより緊密に連携できるようになり、解決につながった。

＊相談者の希望に沿って、問題がその場で解決できなくても、話を十分に聞くなどの対応ができた。

＊当初から水曜日午後、10 月から月曜日午前中と水曜日の午後に中国語語学ボランティアが常駐し、中国語相談対応を行なった。

＊「行政書士による外国人個別相談」
英語、中国語、スペイン語の通訳が常駐、必要に応じてタガログ語の通訳が同席して多言語対応を行った。

＊語学ボランティア研修で、語学ボランティアの心構えやサポート上の基礎知識を学習する機会を
提供できた。

課題：

＊まだ、中国語ボランティアが常駐していることが、市民に十分周知されていない。

＊外国人もネットで検索するなどして問題解決のための努力もしており、より精度の高い対応が求められている。

２．事業名：　外国人のための無料専門家相談会　（委員会）

概　　要	詳　　細
○第 15 回「外国人のための無料専門家相談会」の開催 東京外国人支援ネットワークによる都内 17 ケ所の「リレー相談会」のうちの１回を八王子市で実施	○無料専門家相談会 ・開催日：平成 30 年２月 25 日(日) ・場所：学園都市センター　第 1 セミナー室ほか ・相談件数：21 件 （ビザ、年金、家族、離婚、労働、など） ・相談者数：19 組 相談者国別人数：チェコ２名、中国 7、フィリピン４、シリア１ スエーデン１、韓国１、タイ１、フランス 1、ネパール１ ・運営者数：専門家・相談員 13 名、通訳(語学ボランティア)14 名、スタッフ 18 名
○フィードバックミーティング	○当日相談会終了後 相談会参加者全員（専門家、相談員、通訳、運営スタッフ）から相談会について感想、意見を発表してもらった。
○研修会の実施	○研修会 「外国人相談における法律相談の基礎知識・事例検討」 ・開催日：12 月 16 日(土) ・場所：国際交流室 ・講師：高﨑　鉄也　行政書士 （当国際協会元理事・毎月個別相談を担当） ・参加者：　20 名
○事前シミュレーション研修の実施	○事前シミュレーション研修 ・開催日：平成 30 年 2 月 17 日(土) ・場所：　学園都市センター　第 1 セミナー室 ・内容：運営スタッフ･通訳の顔合わせおよびロールプレイングによる役割･動きの確認を行った。 ・参加者：21 名（含む語学ボランティア）
○反省会（委員会兼）	○反省会 ・開催日：平成 30 年 3 月 24 日(土) ･場所：国際交流室 ・内容：次年度以降の相談会をより充実するため、今回の相談会の「実施記録」「フィードバックミーティング集計」専門家、相談員、通訳、運営スタッフ、相談者からの「アンケート」を検討し、今回相談会の総括(反省)をした。 ・参加者：6 名
○委員会	○年５回開催（７/21、９/29、12/12、２/18、３/4）

成果：
＊スタッフ（委員等）の経験者が多く、シミュレーションの成果もあり、開始当初に相談者がどっと押し寄せたにも関わらず、全体の流れが非常にスムーズにいった。
＊八王子市外からの相談者が多く、PR の効果があった。

課題：
＊相談後、有料でも相談できる場所などを提案したほうが良い。
＊通訳の言語レベルアップが課題である。

３．　外国人市民の町会・自治会への防災訓練参加　（防災・災害対応委員会）

概　　要	詳　　細
○町会・自治会主催の防災訓練に外国人、語学ボランティア、協会職員が参加 ○災害時の対応等も含めた、外国人市民の防災意識の向上に資するとともに、外国人市民と地域のつながりのきっかけづくりをするため、町会・自治会等と連携し、外国人市民を対象とした地域の防災訓練に参加	○地域の防災訓練へ参加 ①11 月 26 日（日）、市内の万葉公園で行われためじろ台１丁目・4 丁目町会合同防災訓練に、外国人６名（内留学生５名）、語学ボランティア２名、防災・災害対応委員会委員１名、協会事務局１名が参加した。 ②12 月 10 日（日）、市内のみなみ野小・中学校校庭で行われたみなみ野 5 丁目・6 丁目合同防災訓練に、留学生９名、語学ボランティア１名、防災・災害対応委員会委員１名、協会事務局３名が参加した。
○災害ヘルプカードの改訂と配布	○災害ヘルプカード改定版 2,000 部を、関係先へ配布した。
○委員会	○年 3 回開催　（5/29、8/10、11/16）

成果：
＊八王子市に居住する外国人が、居住する町会・自治会主催の防災訓練に参加することにより、支援スキームの外国人への周知が浸透し、訓練へ参加する外国人の増加が期待できる。また、町会自治会の関心度が高まり効果は抜群である。

課題：
＊地域在住の外国人が把握されていない。
＊町会自治会の日常活動に、外国人に対する視点がない。

４．コミュニケーション支援　（外国人コミュニティ支援プロジェクト委員会）

○外国人市民のネットワークの構築	○在住外国人と日本人市民が、コミュニティ・グループに参加できるようにグループ・イベントを活発に開催して、広報活動を努めた。 ○コミュニティ・グループ・イベント 第１回　「外国人のための教室料理　タイ料理を作りましょう」 ～「カオモッガイ」と「タイの家庭のスープ」～ ・開催日時： 4 月 22 日(土) 13:30～16:30 ・会場：クリエイトホール料理講習室 ・参加者：15 名（含む中国３名） 第２回　「外国人のための日本料理教室」 ～「牛丼」と「野菜の浅漬け」～ ・開催日時：　6 月 24 日(土) 14:00～16:30 ・会場：クリエイトホール料理講習室 ・参加者：11 名（含む中国４名、韓国１名） 第３回　「ブルーベリー狩りで国際交流」 ・開催日時：8 月 26 日（土）10:00～12:00 ・会場：恩方ブルーベリーの里　中村農園 ・参加者：20 名（含む中国６名、韓国１名、スリランカ３名） 第４回　「高尾山ハイキング」 ・開催日時：10 月 14 日（土）10:00～ ・会場：高尾山 ・参加者：雨天のため中止 第５回　「マジックショーと折り紙づくり」 ・開催日時：12 月 10 日（日）14:00～16:00 ・会場：八王子国際協会　国際交流室 ・講師：①カワモト　ヒデユキ氏（マジックショー） ②百歳長寿・明日をひらく中高年の会（折り紙づくり） ・参加者：大人 23 名（含む中国３名） 第６回　「磯沼ミルクファームで乳搾り体験」 ・開催日時：平成 30 年３月４日（日）12:30～14:00 ・会場：磯沼ファーム ・参加者：17 名（含む中国１名、フランシス１名、セネガル１名、スリランカ２名） ○やさしい日本語講座 第１回　～外国人にわかりやすい日本語で伝えよう！～ ・開催日時：平成 30 年３月４日（土）10:00～12:00 ・講師：梶村　勝利氏（東京日本語ボランティアネットワーク） ・会場：八王子学園都市センター　第５セミナー室 ・参加者：30 名
○プロジェクト委員会	○年２回開催（５/15、３/４）

成果：
＊在住外国人と日本人市民がお互いにできることを考え、多文化共生社会を構築するため、イベントやFacebookを使って、情報提供と外国人コミュニティづくりを支援した。また、当国際協会の掲示やFacebookを見て協会の講座やイベントに興味を持ち、コミュニティ・グループに入る人が増えてきた。
＊外国人にとってわかりやすいように配慮した「やさしい日本語」を紹介した講座の開催を、企画、実施し、参加者も30名と好評であった。
課題：
＊Facebookは、情報の拡散性が高く、伝達量が多いため、多くの外国人コミュニティを支援するのに効果的である。今後は、さらにコミュニティ・グループが必要としている話題や生活情報を提供していく。
＊外国人が安心して定期的に集まれる（交流サロン等）場や日本人と交流できる場がない。
＊「やさしい日本語」をどのように活用するか具体的に提案していく必要がある。

5. 学習支援　(学習支援委員会)

概　　要	詳　　細
○学習支援者への研修会の実施 テーマ：外国人の子ども達の在留資格	○学習支援者への研修会の実施 ・開催日：８月19日（土）13：30～16：30 ・会場：学園都市センター第1セミナー室 ・講師：高橋徹氏 （多文化共生教育ネットワークかながわ/Me-ne代表） ・参加者：26名

成果
＊以前は、個人情報でもあるので詳しい事情を聴けなかったのだが、最近は進学や将来のことを相談されることが出てきた。また、高校や専門学校に進学した子どもから相談を受けることもある。子どもの在留資格によって、高等教育が受けられなかったり、就職ができなかったりするケースが多くある。知っていることでアドバイスができる。
具体例を挙げての説明と支援者の中に行政書士がいることもあって法律や実際事例の話を聞くなどでき、とても濃厚な学習会となった。
課題
＊普段の活動の中では、子ども達のその日の学習課題を片付けることのみになり、年２回の保護者面談で状況を知ることでは、相対的な支援にはつながらない現状にある。

６．事業名：　日本語ボランティア養成講座 （委員会）

概　　要	詳　　細
○「日本語ボランティア基礎講座」の開催	○日本語ボランティア基礎講座 ・開催日：６月３日(土)～７月 15 日(土)　毎週土曜日　全５回 ・会場：八王子学園都市センター ・対象者：日本語ボランティアを始めようとしている方 日本語ボランティア初歩の方 ・参加費：5000 円　（但し　当協会会員は 4500 円） ・受講者数：29 名　修了者：26 名 ・講師：林川 玲子氏 （東京日本語ボランティアネットワーク事務局長） 宮崎 妙子氏　藤橋 帥子氏、金子 広幸氏 、山形 美保子 （東京日本語ボランティアネットワーク講師） ・講座内容 ＊地域日本語ボランティアとは 「日本語ボランティア活動の現状」目的と役割・心構え 「日本語の習い方」を学ぼう ＊外国人学習者の日本語の習い方（１） 「文法積み上げ型ではない活動例」 ＊外国人学習者の日本語の習い方（２） 「身の回りのものを使って何かできるか」 ＊外国人学習者の日本語の習い方（３） 「外国語で自己紹介にチャレンジ」 ＊外国人学習者の日本語の習い方（４） 「日本語学習者と話そう」実習 ○日本語学習支援の活動紹介と参加要請 ＊各回の講座の終わりに、日本語学習支援の活動を実施している当協会団体会員が「自分たちの活動を紹介」して、活動への参加を呼びかけた。 ＊修了者の半数近くが日本語活動グループに入会しました。
○「日本語ボランティア・ステップアップ講座」の開催	○日本語ボランティア･ステップアップ講座 ・開催日：10 月７日(土)～11 月４日(土)　　全５回 ・会場：八王子学園都市センター ・対象者：日本語ボランティアをしている方 日本語文法など基礎学習を終えた方 ・参加費：　各回 500 円 （但し当協会会員と当協会団体会員メンバーは無料） ・受講者数：27 名 ・講師：川口　義一氏（早稲田大学名誉教授、 東京日本語ボランティアネットワーク講師） ・講座内容 ＊発音：教授法のちょっとした知識で出来る、 簡単な発音習得の支援 ＊文法：教授法のちょっとした知識で出来る、

	簡単な文法習得の支援 ＊漢字：教授法のちょっとした知識で出来る、 漢字習得の支援 ＊敬語：教授法のちょっとした知識で出来る、 簡単な敬語習得の支援 ＊教材分析：教授法のちょっとした知識で出来る、 教材の批判的分析 ○日本語学習支援の活動の紹介 ＊各回の講座の終わりに、当協会団体会員が自分たちの日本語学習支援の活動を紹介するなど情報交換を行った。
○委員会	○年６回開催　（３/18、４/５、７/15　８/５　10/７　３/31）

成果：

＊基礎講座およびステップアップ講座いずれも、講師陣は「東京日本語ボランティアネットワーク」からの派遣だったが、地域日本語教室の性格をよく理解し、これを踏まえて指導していただくことができ、受講者からも好評だった。

＊講座の終わりに当協会団体会員が「自分たちの活動を紹介」して活動への参加を呼びかけた。呼びかけも効果があり、修了者の半数近くが日本語活動グループに入会した。

＊予算に余裕があったので、日々外国人の日本語支援の行っている方（当協会会員と当団体会員メンバー）に無料でスキルアップの場を提供できた。

課題：

＊地域日本語教室では、常に日本語ボランティアが足りないので、日本語ボランティアの認知度を高め、日本語ボランティアを増やす必要がある。また日本語ボランティアの育成は、地域日本語教室を主宰している団体と協力する必要がある。

７．事業名：　留学生のための就職支援セミナー

概　　要	詳　　細
○「留学生のための就職支援セミナー」の開催 対象：日本や八王子市の企業に就職を目指している留学生 主催：八王子市 実施：八王子国際協会 　　NPO 留学協会 後援：八王子商工会議所、 　大学コンソーシアム八王子 ○企業めぐり	○就職支援セミナー ・開催日：11 月 26 日(日) 　会場：八王子（東急）スクエアビル 12 階　第 5 セミナー室 　参加者：留学生 16 名 　①テーマ：・日本企業に就職するにあたっての心構え 　　・日本企業に就職した先輩との交流ラウンジ 　講師：NPO 法人留学協会 　②テーマ：留学生が就職活動にあたり、考えておきたいこと 　講師：石田　光氏（株式会社夢道 S　代表取締役） 　③八王子の優良企業の紹介 　講師：古瀬　智之氏（株式会社　コスモ計器代表取締役） ○企業めぐり 　開催日：12 月 6 日(水) 　参加者：20 名 　訪問先：日本水産株式会社八王子総合工場～ 　　（株）大島椿本舗本社工場～オリンパス株式会社技術歴史館「瑞古洞」

成果：
＊企業めぐりは、昨年と同じ見学コースであったが、日本水産（株）と（株）大島椿本舗の異業種の生産ライン、オリンパス（株）のカメラや医療器具の歴史などを見ることができ、参加者から大変な好評を得た。
＊少子高齢化の中、優秀な留学生のわが国や本市地元企業への就職は重要な課題である。
参加者から「内容が充実していて、大変参考になった」、「企業が求めている人材などを知り、勉強になった」等の感想が多く寄せられた。

課題：
＊就職支援セミナーについては、大学コンソーシアム八王子との連携を模索する。企業訪問は、引き続き市内外の優良企業の訪問を実施したい。

８．国際理解教育　　（国際理解教育委員会）

概　　要	詳　　細
○研修会・講演会の実施	○教員のための国際理解教育ワークショップ ・開催日：７月 27 日（水） ・会場：八王子市教育委員会　教育センター第 3 会議室 ・講師：森茂　岳雄氏（中央大学文学部教授） ・参加者：60 名

成果

＊教育委員会夏の教員パワーアップ研修のプログラムのひとつ、国際理解教育部の研修を、当国際理解教育委員会が受託して、企画・運営をした。定員いっぱいの会場で、森茂岳雄講師の巧みな講話の後に実際の授業プランを作成し、参加した教員の研修の効果は充分得られた。

課題

＊東京オリンピック・パラリンピック教育を取り入れてやる授業は、学校教員において至難の業と思われるが、都教委の示す目標並びに知識や理解を深め、取り組んで行かねばならない。